

結 果 の 概 要

1 結果の要約

(1) 出生数は増加

出生数は 6,011 人で、前年の 5,697 人から 314 人増加し、出生率（人口千対）は 8.2 で、前年の 7.7 を上回った（全国第 32 位）。

合計特殊出生率は 1.53 で全国第 3 位（昨年も第 3 位）であった。1 位は沖縄県（1.74）、2 位は宮崎県（1.55）、4 位は鳥取県（1.51）である。

(2) 死亡数は減少

死亡数は 8,453 人で、前年の 8,557 人から 104 人減少した。死亡率（人口千対）は 11.5 で前年の 11.6 を下回った（全国第 2 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は脳血管疾患となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 28.9%、15.9%、12.1% であり、前年に引き続き死亡者のおよそ 3 人に 1 人は悪性新生物で死亡したことになる。

(3) 自然増加数は増加

出生と死亡の差である自然増加数は 2,442 で、前年の 2,860 人から 418 人増加し、自然増加率（人口千対）は 3.3 で、前年の 3.9 から上昇した（全国第 3 位）。本県は平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は 160 胎で、前年の 170 胎から 10 胎減少し、死産率（出産（出生 + 死産）千対）は、25.9 で前年の 29.0 を下回った。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、3,305 組で、前年の 3,345 組から 40 組減少し、婚姻率（人口千対）は、4.5 で前年の 4.5 と同率である（全国第 46 位）。全国においては前年と比較して婚姻件数は増加している。

平均初婚年齢は夫 29.5 歳、妻 27.5 歳で、前年に比べ、夫は 0.4 歳、妻は 0.1 歳上昇した。（全国平均は夫 30.0 歳、妻 28.2 歳）

(6) 離婚件数は増加

離婚件数は1,199組で、前年の1,124組から75組増加し、離婚率は(人口千対)1.64で前年の1.52を上回った(全国第45位)。

表1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成18年	平成17年	対前年増減	平成18年	平成17年	平成18年	平成17年
出生	6,011	5,697	314	8.2	7.7	1時間27分26秒	1時間32分16秒
死亡	8,453	8,557	104	11.5	11.6	1時間2分11秒	1時間1分26秒
乳児死亡	16	18	2	2.7	3.2	22日19時間30分	20日6時間40分
新生児死亡	8	7	1	1.3	1.2	45日15時間	52日3時間25分43秒
自然増加	2,442	2,860	418	3.3	3.9
死産	160	170	10	25.9	29.0	2日6時間45分	2日3時間31分46秒
自然死産	56	61	5	9.1	10.4	6日12時間25分43秒	5日23時間36分24秒
人工死産	104	109	5	16.9	18.6	3日12時間13分51秒	3日8時間22分2秒
周産期死亡	24	31	7	4.0	5.4	15日5時間	11日18時間34分50秒
妊娠22週以後の死産	18	24	6	3.0	4.2	20日6時間40分	15日5時間
早期新生児死亡	6	7	1	1.0	1.2	60日20時間	52日3時間25分43秒
婚姻	3,305	3,345	40	4.5	4.5	2時間39分2秒	2時間37分8秒
離婚	1,199	1,124	75	1.64	1.52	7時間18分22秒	7時間47分37秒

	平成18年	平成17年
合計特殊出生率*	1.53	1.50

* 分母に用いた人口
平成17年・・・日本人人口(国勢調査)
平成18年・・・総人口(総務省推計)

注：出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産(出生+死産)千対。周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。